

夏号

のうね

人と地域をつなぐ情報誌

Noune+

PLUS



CONTENTS

- ✓ 特集 — 最大のライバル 最高の理解者 … P.2~3
- ✓ トピックス … P.4~5
- ✓ 歴史の場所を歩く②⑥ … P.7

放課後子ども教室
8月5日(木) ちぎって貼って
色と柄を活かして
夏のカードを作りました

最大のライバル 最高の理解者

マイナビ仙台レディース ユースチーム コーチ
有町 紗央里 さん

福井工業大学附属福井高等学校 教員
有町 紗也香 さん



地元出身で、サッカーを通じて常に前に向かっていくとてもステキな双子の姉妹がいます。今回はお二人に子どもの頃の話や、指導者としてのお話をうかがいました。

★小さい頃はどんな子どもさんでしたか？
姉…紗央里（以下姉）…負けず嫌いで、そとで男の子と遊ぶのが大好き
妹…紗也香（以下妹）…負けず嫌いで、わがままな末っ子

★子どもの頃から走るのが速かったそうですが、正直どちらが速いと思っていましたか？
姉…短距離は紗央里、長距離は紗也香。短距離では勝てなかったが、マラソン大会は六年間一位

妹…紗央里。長距離は最初からあきらめていて、目指すは常に二位

★選手として、今まで忘れられない一蹴は？
姉…2018.9.6
ケガからの復帰戦（なでしこリーグ）

妹…2010.1.3
インカレ決勝戦

★憧れの選手は？
姉…澤穂希さん
妹…有町紗央里選手 有言実行する姿、サッカーを心から楽しむ姿

★最大のライバルは誰ですか？
姉…小学校のころはお互いにライバルだったが、大人になるにつれ自身自身が最大のライバル
妹…紗央里。小さい頃はお互いにライバルでした。みんなが比べるので（笑）大学以降は環境が別になり、一番の理解者になりました。

★サッカーを通してどのようなことが学べましたか？
姉…日々の小さな成功と失敗の積み重ねがいつか大きな成功につながる。壁が大きければ大きいほどそれを越えた時の感動が大きいということ。

妹…全て。生き方、考え方のベース形成。努力は人を成長させるということ。目標設定の大切さと達成までのプロセス。そこには仲間の存在や多くの人の支えがあり、いつも自分を助けてくれていること。語りだしたら止まりません（笑）

★指導者としての心構えがありますか？
姉…選手の経験をいかして、選手に寄り添いながら選手それぞれの魅力にか？

現在、指導者としてB級ライセンスをお持ちのお二人。A級・S級ライセンス取得を目指し、指導者としても益々のご活躍が楽しみです。

を引き出せるような指導者になりたい。妹…子どもたちのことを一番に考えること。こちらからの押し付けではなく生徒たちが主体的に取り組みたいの導きとサポート。選手の中にある力を見出すこと。その手助け。

★サッカーやいろいろなスポーツ他頑張っている子どもたちへエールを姉…初めてのことにチャレンジすることはとても勇気のいることだけど、チャレンジすることである失敗と成功を経験して、そこからどうしたらいいのかを考えることのできる人になってほしい。

妹…可能性は無限大。でもやってみないと何も始まらない。やらずに後悔することやってみてそこから多くを学んでほしい。人生において失敗することも多くあるけど成功は必要なこと。うまくいったら成功。失敗したら経験だと思って豊かな人生を歩んでほしい。

★最後に、故郷（長畝地区）で真先に浮かんで来るものは何ですか？
姉…福井弁
妹…長畝の村



▲2020.12.5 紗央里さん 引退試合



ボールまわして～

▼ 紗也香さん 渾身の一蹴

▼ 紗央里さん仙台レディースで指導開始



▶ 紗也香さん インカレ優勝



◀ 福井工業大学附属福井高校女子サッカー部 ▶

丸岡 RUCK レディース
丸岡 FC
長畝 FC

有町紗也香さん プロフィール

早稲田大学 (2007.4 ~ 2011.3)

福井工業大学附属 福井高等学校 教員 (2011.4 ~)

福井中学校・福井高等学校 サッカー部コーチ

有町紗央里さん プロフィール

大原学園 jaSRA 女子サッカークラブ

岡山湯郷 Belle (2008 ~ 2014)

マイナビガルト 仙台レディース (2015 ~ 2020)

聖 57年ぶりの聖火リレー 火リレーと母校でのトーチお披露目

TOKYO2020のオリンピック聖火リレーが、5月29日(土)・30日(日)に福井県を縦断しました。2日目の丸岡城～丸岡運動公園間のアンカーを古谷輝美さん(上長畝)が務めました。沿道では多くの方が聖火ランナーに声援を送りました。

また、6月28日(月)には、母校の長畝小学校で講演とトーチのお披露目が行われました。中学1年の時のマラソン大会で1位になれず悔しい思いをし、自主練習を毎日した結果、国体やインターハイに出ることができたことや、その後も陸上の楽しさを伝えるために体育指導員として長期間携わっている話をお聞きました。講演後は、児童代表が実際に聖火リレーに使用されたトーチを持ち体育館の中をリレーしたり、全校児童がトーチを触ったり間近に見ることができ、とても貴重な体験ができました。



地 調印式 区と企業が災害時協力協定

坂井市では、各団体に対し大規模な風水害及びその他の災害が発生した場合における支援活動を奨励していますが、この度株式会社吉勝重建(丸岡町長畝)から「一時避難場所として会社建物を使用してください」との申し出がありました。6月10日(木)同社において、矢野智孝社長と、坂井市長、長畝地区区長会、のうねの郷づくり推進協議会、城のまち区長会、城のまちまちづくり協議会で「災害時における協力に関する協定書」の調印式を執り行いました。今後、災害時の一時避難や車両の待避場所として、長畝、城北、栄の住民が同社建物や駐車場を使用出来ることとなりました。



夏 第13回ラジオ体操の会 休みの朝はラジオ体操で!!

7月17日(土)に長畝小学校グラウンドにて、“第13回ラジオ体操の会”が行われました。昨年はコロナウイルスの感染が拡大していて実施できなかったのですが、今年は受付方法を変更したりソーシャルディスタンスを保つ等感染対策を講じながら行いました。雲一つない真っ青な空の下、中田成裕氏の指導で楽しくウォーミングアップをし、その後ラジオに合わせてラジオ体操をして、夏休み前に爽やかな汗を流しました。

(文：ふれあい部会)



太 夏花を植栽 陽がお似合いの花!!

6月20日(日)かんきょう部会員と花いっぱい推進委員8名が、マリーゴールド・日日草・ペゴニア約320株を植栽しました。

当花壇は7年前に小学校児童の登下校を花で迎えようと始め、春花と夏花を管理しています。花の好きな方のお手伝いを求めています。ぜひともご協力をお願いします。

また味岡山の管理棟南側にコスモスが成長中で、10月頃が見頃です。(文：かんきょう部会)

猛 豊原史跡整備作業 暑の中での整備作業

7月22日(木・祝)豊原史跡整備事業を行いました。夏休みに豊原史跡を訪れる方々のためと、10月31日(日)開催予定の「豊原古道フットパスツアー」事前準備ということで例年この時期に行っております。今回は、豊原史跡内の特に白山神社周辺と山城山城址、化生ヶ岳参道と深沙大王像祠周辺の草刈を行いました。当日は30℃を超える猛暑の中、ふるさと部会員とサポートの皆様合わせて15名のご協力をいただき無事作業を終えることができました。当日の参加の皆様本当にありがとうございます。なお山城山城址にある展望台ですが、柱のうち1本が腐食がひどく使用禁止とさせていただきます。ご理解ご了承いただけますようお願いいたします。(文：ふるさと部会)



見 のうねっ子見守り隊員研修会 守り活動はおまかせ!!

長畝小学校児童の登下校時の見守り活動をしている「のうねっ子見守り隊員」の研修会を6月26日(土)に開催しました。はじめに長畝小学校の山本一郎校長から、日頃の慰労に対する感謝の気持ちが伝えられ、その後坂井警察署生活安全係の川端歩係長の講習がありました。坂井市内や長畝地区における不審者などによる声掛け事案の被害発生状況や被害防止対策、女性の目から見た恐怖心、見守り活動中の交通安全心得の指導を受け、参加者は見守り活動の重要性を再認識しました。(文：あんしん・ふくし部会)



地域活動を通して養う

グローバルな視点

丸岡高等学校 地域協働部



同校は、文部科学省の地域との協働による高等学校教育改革推進事業の研究指定校として、2019年4月に「地域協働部」が発足され、3年目を迎えた。地域のリーダーを目指し、自分たちが企画するまちづくりプランを地域の方々と交流し、協力しながらまちづくりに取り組んでいる。主な活動は、「蕎麦打ち」・

自分たちで考える「マイまちづくりプラン」・「地域のボランティア」で、今後は「地域協働ファーム」を開園し、地元の農家の協力を得ながら、丸岡在来種の蕎麦を育ててPRしていく。

★1年生に聞きました★

部活を選んだきっかけは？

- 小さい頃から地域の方にお世話になったので恩返しをしたい (笹本悠生さん)
- ボランティア活動に興味があったから (小林蒼さん)

★3年生に聞きました★

今後どのように生かしたい？

- 地域とどう関わるかということを進路大学で深く学び、将来に生かしたい (野口昂之介さん)
- プレゼン能力を大学や仕事にも生かしていきたい (岡崎椿さん)



歴史の場所を歩く② 竹田川の三つの淵と キラキラ遊歩道

— 釜ヶ淵、椿ヶ淵、滝ヶ淵 —

川上区を流れる竹田川に三つの淵がある。上流から滝ヶ淵、椿ヶ淵、釜ヶ淵である。竹田川は上流から何回も大きく蛇行しながら、溪谷を下流へ流れ下っている。蛇行のたびにここに深い淵が出来るのである。特に川上区集落の南側を流れるところでは三回、方向を変えて三つの淵を作っている。

一番上流が滝ヶ淵である。川上から豊原へ向けての山地を木波山というが木波山地に降った雨がこ



滝ヶ淵

の滝をつたって川に落ちている。深い山ではないので、雨が降った後、数日間のみ滝に水が落ちるだけなので、ここに滝があるということ知る人は少ない。しかし、滝つぼに当たる部分はかなり掘られて深い淵を作っている。

次の淵が椿ヶ淵である。ここは川上区集落の南側の崖下に細長く淵を作っているところである。滝が淵から一旦浅瀬になって、崖下の岩壁に突き当たるところで流れの方向が変わり、そこから崖の岩壁に沿って深い淵を作っている。流れが急なので、昔、川遊びが盛んな時代には、流れに巻き込まれて溺れる事故がかなりあった。夏になるとホタルが出る。川上区集落センターの横から川へ降りる



椿ヶ淵

道があるので、川べりでホタルを見ながら夕涼みができる場所である。

最後の淵が釜ヶ淵である。ここは川幅も広くゆったりしている。夏、川遊びの場所だった。昭和三十年のころまで子ども時代を過ごした人たちは懐かしい場所である。プールなどはなかった。夏休みになると、近所から多くの子どもたちが水泳をするために毎日通ったものだ。遠く丸岡の町からも自転車



釜ヶ淵

泳ぎに来て、手前の竹藪には自転車が見えていた。最盛期にはアイスキャンディーの店屋も出た。淵の対岸に手頃な飛び込み用の岩があつて、一の段、二の段、三の段まであった。三の段は高さは十メートルくらいもあるもので、そこから飛び込むのには怖かった。垂直飛びで飛び降りたものだ。また、川幅が広く、足が立たないところを泳ぐのは勇気が必要だった。プールもない時代に過ごした人たちには昔懐かしい思い出の場所である。



遊歩道を散策する(川上区)



▲赤紫の花びらを下向きに大きく広げながら咲く、カタクリの群生

約十年ほど前、のうねの郷づくり推進協議会では、今は亡き山本栄さん(川上区)が中心になって、このあたりに遊歩道を作って散策できるようにした。最盛期にはカタクリの花が一面に咲いて、訪れる人も多かったが、残念ながら今は荒れ果ててしまった。(文責 水崎亮博)



フォトアルバム あの日 あの時

あの場所

くすなつかしの写真館



昭和30年 長畝小学校校門前

現在の長畝小学校校門が残っています。門に立てかけられた看板には「夏休宿泊生活所」と書かれていますね…当時のことをご存じの方いらっしゃいましたら、のうねの郷コミセンまで★



昭和56年 長畝小学校グラウンド

グラウンドに降り積もった雪で作ったクラス対抗「雪の造形大会」は今から40年前。みんなで何をやるか相談し協力し合って作ったもの。雪に塩をかけると溶けにくくなること、をこの時に覚えたことを記憶しています。外で思い切り遊び、自然の中で色々なことを覚えました。(曾々木区・東宏明さんより)

※長畝小学校よりお借りした写真を掲載しております

夏休み子ども教室開催

8/5
(木)

マスキングテープで作る ★ちぎり絵ポストカード★

講師：高屋孝子さん 参加者：17名

数えきれないくらいのマスキングテープの中から図柄に合う色をちぎって貼ってポストカードにお絵描きしました。重ねて貼ることで多彩な色と柄の濃淡で立体的になり、世界でたった1枚のカードが出来上がりました。



▲講師がちぎり絵アートを始めたきっかけは山下清の展示会を観覧してからだそう。



個性あるれる、可能性を持った
ちぎり絵アーティストの誕生(^^)



長畝小児童が考えたカルタの読み札に合った風景や人物などを、シャープペンでまるでモノクロ写真のような絵画を描く人がいる。現在、のうねの郷協で製作中の『のうねキッズかるた』の絵を担当している、上長畝区の竹原誠さん、その人だ。

昨年年度まで長畝小の教頭先生だった竹原さん。竹原さんが描くマンガの主人公や芸人の絵は児童たちから大人気で、毎日、子供たちから作画の依頼が殺到していた。一昨年度、郷協では『のうねキッ

ズかるた』の絵をどのよう
に作成するのか思案してお
り、その画力を頼って絵の
担当を依頼し、現在もじよ
うほう部会員として活動し
ている。
数学教諭である竹原さん
は、絵を描き始めたきっか
けを「学生時代、数学者の
肖像画を書くのが楽しかつ
たから」と少し気恥ずかし
そうに話す。長畝小では、
児童から絵を描いてほしい
と頼まれると決して断るこ
となく、平日の夜や土日な
どを絵に費やした。「子供た
ちに頼まれると断れないし、
喜ぶ笑顔を見ると嬉しくな
る」とゆったりとした優し
い笑顔で話す。
細やかな描写を心掛ける

竹原 誠
(たけはら まこと)
丸岡町上長畝 (60歳)
中学校教諭で勤務の
傍ら絵を制作中。絵
のほか、第一種情報
処理技術者試験に合
格するほどの高度な
プログラミングなどさ
ざまな特技を持つ。

30年前の写生の授業の際、
風景を描く一人の児童が一
本の木を描くたびにその木
まで歩み寄って触ってその
様子を描写している姿に心打
たれたからという。子供た
ちの成長を見てきた竹原さ
んだからこそ、より一層、子
供たちの考えた句を引き立
てるかるたの絵となるに違
いない。白黒の風景画から
「温もり色」を感じさせる、
心優しいアーティストだ。



▲ゆったりとした笑顔の竹原さん

編集後記

▼1年遅れの東京オリンピック開催で日本中が選手たちの活躍を期待し、ゴールドラッシュを夢見て、その話題で持ち切りなはずなのに：なぜか新型コロナウイルスで関心が薄れた大会になっているような？
本誌も取材予定のイベントが次々と中止になつて心が折れそうですが：長畝地区にはほっこりする明るい話題があるはず！みなさんからの話題提供もお待ちしております。(Y・M)

これからの予定

- 10月10日(日) 丸岡古城まつり
- 10月31日(日) 豊原フットパス体験会
- 11月上旬 ふれあいウォーク
- 11月13日(土) 長畝地区区長会研修
- 12月上旬 さと 郷花火(仮称)
- 12月上旬～ 霞の郷イルミネーション
1月下旬 ★冬バージョン★

霞交番からのお知らせ

○防犯対策への協力

盗難や犯罪を防止するためには、防犯カメラが有効です。設置の際のご相談は霞交番にご連絡ください。

○自転車は「車のなかま」

自転車は道路交通法で軽車両に位置づけられています。交通ルールを守って安全運転を心がけましょう。



ご相談は

坂井警察署 霞交番まで
☎66-0110
(内線 503)